

館報

下栗津

第85号

ホームページ <http://www3.ocn.ne.jp/~shimoawa/>

下栗津町勢

(平成25年11月現在) (24年11月)
 世帯数 558世帯 (555世帯)
 町民数 2,001名 (1,993名)
 男子 958名 (955名)
 女子 1,043名 (1,038名)

下栗津町公民館 TEL44-3123

【事務局受付時間】
 月曜日～金曜日 午前9:00～午後1:00
 月末土曜日 午前9:00～午後4:00
 (題字は町内会長)

屋内来場者の皆様



トーマス・ナンノー座



11/2 土曜日

11/3 日曜日

公民館まつり

ご来場ありがとうございました



御供田幸子のコント



お楽しみ抽選会

11月2日(土)、3日(日)、下栗津会館にて公民館まつりが開催されました。館内には、町内の皆様からお寄せ頂いた多数の作品が展示され、日頃の修練の成果をご披露頂きました。

2日の午後からは子供お楽しみ会が行われました。ここでは映写会とビンゴ大会が行われ、子供達は大はしゃぎでした。午後6時30分からはお茶会、午後7時からは「桃山会」による詩吟の発表と、「琴きらら」による大正琴の演奏が催され、和の心が調和した素敵な時間を過ごしました。

3日は天気予報では夕方から雨ということで、外での催し物が心配されましたが、幸いなことにオーダーストップまでは、雨は本降りにはなりませんでした。その秋空の下、屋外では各種模擬店のほか、ゲームコーナー、餅つき、小松みなみ診療所の御厚意による無料健康チェック、そして屋内では飲食コーナーが設けられました。

そして舞台発表。トップバッターは、屋外で「加賀小町太鼓」による太鼓の演奏、屋内に入って矢田野保育園と白嶺幼稚園による元気いっぱいのお遊戯。午後からは太極拳「麗姿クラブ」による演舞、「大正琴下栗津教室」による大正琴演奏、「踊りの会」による舞踊と続き、ゲストコーナーへ。

まずは「トーマス・ナンノーとゆかいな仲間達」によるバルーンアートとマジックショーが披露され、本日のスペシャルゲスト、御供田幸子一座によるコントへと続きました。コントの中には「みなみ診療所」や「福村医院」と、超ローカルなネタが使われ、会場は爆笑の渦に包まれました。

最後に、御供田幸子の司会による抽選会が行われ、読み上げるたびに参加者全員が一喜一憂そして爆笑し、大盛り上がりのフィナーレとなりました。

御来場いただいた皆様、運営に御協力下さいました皆様、本当にありがとうございました。

公民館まつり 屋内催し



お楽しみ会(子供会)



お茶会



詩吟(桃山会)



大正琴(琴きらら)



お遊戯(矢田野保育園)



お遊戯(白嶺幼稚園)



太極拳(麗姿クラブ)



大正琴下粟津教室



踊りの会その1



踊りの会その2



西出武夫氏 黄綬褒章受章



西出武夫 氏

平成二十五年秋の褒章に際し、黄綬褒章の栄に浴しましたところ、早速たくさんの皆さまより、ご懇篤なるご祝意を頂戴いたしました。誠に有難く厚く御礼申し上げます。

去る11月13日、金融庁にて伝達を受け、引き続き皇居に参内し宮殿に於いて、家内共々、天皇陛下に拝謁の榮譽とともに、お言葉まで賜り感激の極みでございました。

これも偏に、ご町内の皆さまをはじめ、私を支えていただいたたくさんのお客さま、地域の皆さま、そして多くの関係各位の永年にわたる温かいご指導とご支援の賜物と、家族共々深く感謝致しております。

また、この榮譽は私一人に与えられたものではなく、永年にわたって今日まで育てていただいたご町内の多くの方々への榮譽と受けとめ、謹んでお受けした次第でございます。

今後はこの榮譽に恥じないよう、一層精進し、些かなりとも町内発展に寄与させたいと存じますので、何卒公私とも倍旧のご指導を賜りますようお願い申し上げます。

ご町内皆々様の益々のご健勝とご多幸を心より祈念申し上げ、御礼のご挨拶とさせていただきます。

今年を振り返って

町内会長 田中 良一

昨年、今年と2年、町内会長という大役を無事に果たす事が出来ました事を、町民の皆様により御礼申し上げます。

又、各種団体・組長・町内役員の方々には、いろいろのご協力頂きまして誠にありがとうございました。

今年を振り返ってみると、これといった事があまり出来なかつた様に思いますが、下粟津町内も他の町内同様、高齢者の方が多くなつてきています。町内会としても民生委員の方々と話し合いながら、もう一度町内全体を見直し、縦横の連絡等がしっかりと取れるようにしなければいけないと思います。

各組要望の件では、JA天田野支店から林町へ抜ける通字路の側溝整備、昨年に続き中川の第二期工事が決まっております。

今年一年、町内会長としての仕事をしっかりとすることができたのか、自分でも自信がありませんが、町内の皆様のおかげで何事もなく1年を無事に終わることが出来ます事を厚く感謝いたします。ありがとうございました。

遅れましたが、学童見守り隊にご協力下さいました皆様方、誠にありがとうございました。おかげ様で何事もなく子供達を守れた事をうれしく思います。

これからも町内活動にご協力下さいますようお願いいたします。



今年をふりかえって

公民館長 東 秀昭

当町における公民館活動について、「下粟津町誌」(昭和57年発行)には、戦後もなくその形を整え、公民館長は町内会長が兼職で活動を進めていきましたが、公民館活動の充実等に伴って昭和55年度からは、新しく公民館長が専任制になったと記されています。が、私がはじめて公民館の役員になった平成6年には、公民館長は再び町内会長が兼職されてきました。さて今年度から町内会長の負担軽減及び、公民館活動の更なる活性化を目的に、町内副会長が兼務することになりました。

私は、過去二回の公民館役員の経験から、町内向けの活動は主事を中心とし、館長は、町外団体との活動を主として行ってきました。

町内行事等では、町民目線でお世話をさせていたのだと思っております。

町外活動では、町内の25名の方が迎えた2月の立志の集いをスタートに、7月の校下公民館の研修に参加をし、8月には、矢田野小学校のマーチングバンドが特別出演した市公連のふれあいフェスティバルの運営のお手伝いをし、10月の校下文化祭には、町内の15名の方からの協力を得て22点の作品出展をしました。

以上、駆け足で今年を振り返りましたが、目的のひとつである町内会長の負担軽減はなされたと思っております。

至らぬ点を反省しつつ、来年以降の公民館活動の更なる発展を祈念して、ご挨拶とします。ありがとうございました。



本年度を振り返って

公民館主事 西出 茂樹

この一年、公民館の行事に多数の参加をいただきました町民の皆様をはじめ、各種団体、町内会役員、特に組長の皆様方には各イベント等を通じ大変なご尽力をいただきましたことを心より感謝をいたします。本年は町内ベタング大会を減らすことで町内運動会、秋祭り、公民館祭りに特に厚みを持たせ皆様方に楽しく参画いただけるようにと文化部、体育部ともに創意工夫を凝らしました。又公民館役員全員が自己満足せず地域住民の方々が楽しんでいただけることを大前提に企画を行ってまいりました。

各イベントでは本年度も天候に恵まれ多くの町民の皆様方に参加をいただき本当に有難く思っております。皆様方の「良かったよ」「楽しかったよ」のたくさんの声や笑顔が何よりも公民館役員の活力源となりました。微力ながらも皆様方の期待に応えられたのではないかと思います。本当にありがとうございました。

これからも公民館活動は地域に根ざし町民皆さんの目線に立ち趣向を凝らし、ふれあいの機会を設けることで地域活性化はできるのではないかと思います。老いも若きも「今日は〇〇やから公民館へ行こう」と思えるような町民の連帯感を深める「絆」づくりを次世代の役員の皆様へ期待したいと思います。私たちもこれからも協力は惜しみません。長い歴史のある下粟津町です。みんなの力で益々盛り上げていきましょう。今後ともよろしくご協力

のほどをお願い致します。今年一年、ありがとうございました。

